

第26期第9回常任理事会議事録

日 時：7月25日 13時30分—17時45分

場 所：気象庁 気象学会事務室（8階）

出席者：浅井 竹内 小倉 藤谷 木田 村上
青木 安富 安成 佐藤 中村 松原

議 事

報告事項

A. 各委員会報告

「庶務」

- ・共催名義使用依頼1件
- ・関西支部の活動報告
- ・事務局臨時職員の交替
新 島津成之 前 馬場和一

「会計」

- ・6月分の収支状況
- ・春季大会の収支報告

「天気」

- ・7月号の内容と8,9月号の予定
- ・「天気」の製本ミスが生じたのは自動化したことが原因とみられるのでミスの無いように指示した。

「気象集誌」

- ・アジアモンスーン特集号の投稿状況。17論文が届き、10論文が執筆中

「教育と普及」

- ・夏季大学準備の進捗状況
- ・「天気」の気象談話室は8月号から再開の予定
- ・インドの熱帯気象研究所から教育ビデオの照会があり回答が提示された。

「山本・正野論文賞」

- ・全理事の投票結果、佐藤 薫会員に決定した。

「通信メディア」

- ・6月の着信件数（186件）と内容

「講演企画」

- ・夏期特別セミナー（夏の学校）を開催した。詳細は「天気」に報告の予定。

「総合計画」

- ・地球惑星科学関連学会の連絡会ニュース NO.1 が発行された。ニュースは日本学術会議の研究連絡委員会の委員と理事に送付することとした。
当学会の通信員は木田理事が当たる。

B. 審議事項

1. 第8回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入退会等について
個人 新規加入13名が承認され、退会2名の報告があった。
3. IAMAP—93 の組織体制第2次案が提示され審議された。実行委員に村上理事が加えられたほかは、原案どおり承認され、実行委員について委嘱文書の依頼手続きをとることとした。
4. 中層大気に関する国際シンポジウム組織委員会から協賛と財政援助について文書依頼を受け、審議された結果、協賛については承認されたが、財政援助の要望の内容等については国際学術交流委員会の活動の一環として同委員会が組織委員会と連絡をとり対処することになった。
5. 学会の運営体制と役員選挙のあり方について
総合計画、庶務担当理事から事務局体制の強化、学会費の検討及び選挙制度の改正を含めた理事会体制の再検討等について提案があり審議が行われた。問題が大きいため継続して審議していくこととなった。
6. 堀内基金奨励賞について
候補者が報告され、規定に基づいて全理事の投票を行うこととした。
7. 地球惑星科学関連学会第3回合同大会での共催シンポジウム
・共催シンポジウム（1992年4月上旬予定）の概要が説明され経費（前年並）を含めて了承された。